

データ制作時のご注意 (Adobe Illustrator での作成を前提としています)

カラーモード：CMYK

データは**RGBではなくCMYK**で作成してください。
RGBの場合、印刷結果が意図しないものになる場合があります。

画像解像度：300ppi

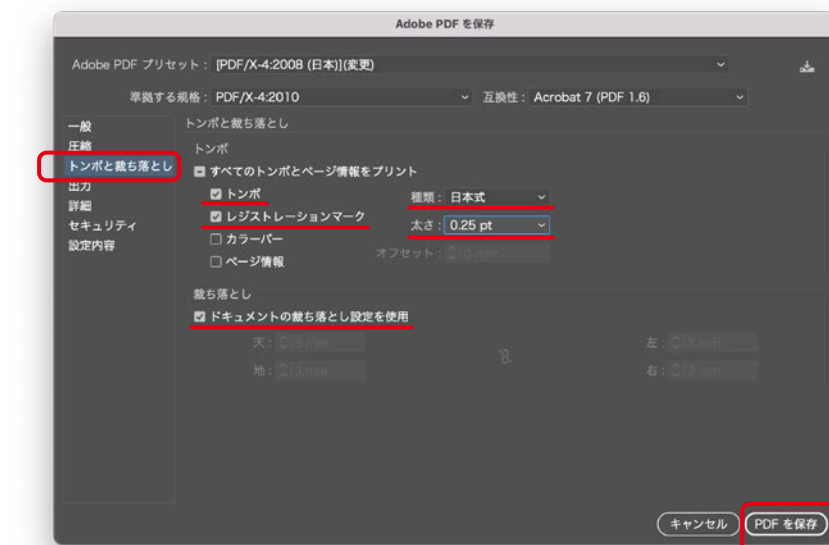
配置する画像の解像度は**原寸で300ppi**以上で作成してください。
配置した画像を**拡大縮小**した場合、**解像度も変わります**のでご注意ください。
また、「効果」メニューの「ドキュメントのラスタライズ効果設定…」での解像度も「高解像度(300ppi)」にしてください。

入稿データ形式：PDF (X-4)

Illustratorで別名で保存→
PDF保存時のダイアログの一番上「AdobePDFプリセット」の中から「**PDF/X-4:2008(日本)**」を選択して保存してください。

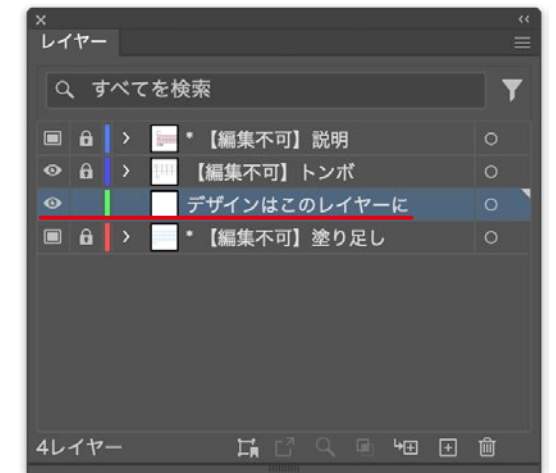


また左の項目から「**トンボと裁ち落とし**」を選択し、「トンボ」「レジストレーションマーク」と、「ドキュメントの断ち落とし設定を使用」にチェックを入れ、「種類」は「**日本式**」、「太さ」は「**0.25pt**」を選択してください。



それが終わったら、右下の「**PDFを保存**」を押して保存してください。

- デザインは、必ず「**デザインはこのレイヤーに**」という名前のレイヤーに配置してください。
※**他のレイヤーは編集しないでください**。編集された場合、**仕上がりに影響が出る場合があります**、その際の責任は負いかねます。



黒のライン

本文の仕上がり（断裁）ライン。このラインで紙が断裁され、完成時の本文仕上がりサイズになります。

水色のベタ

塗り足し範囲。紙の端まで色やデザインがあるときは、**この範囲まで色やデザインを広げてください**。上記仕上がりラインピッタリにイラストを作成すると、製本加工の際に生じるズレにより**紙の白い部分（色が乗っていない紙の地）が出てしまいます**。

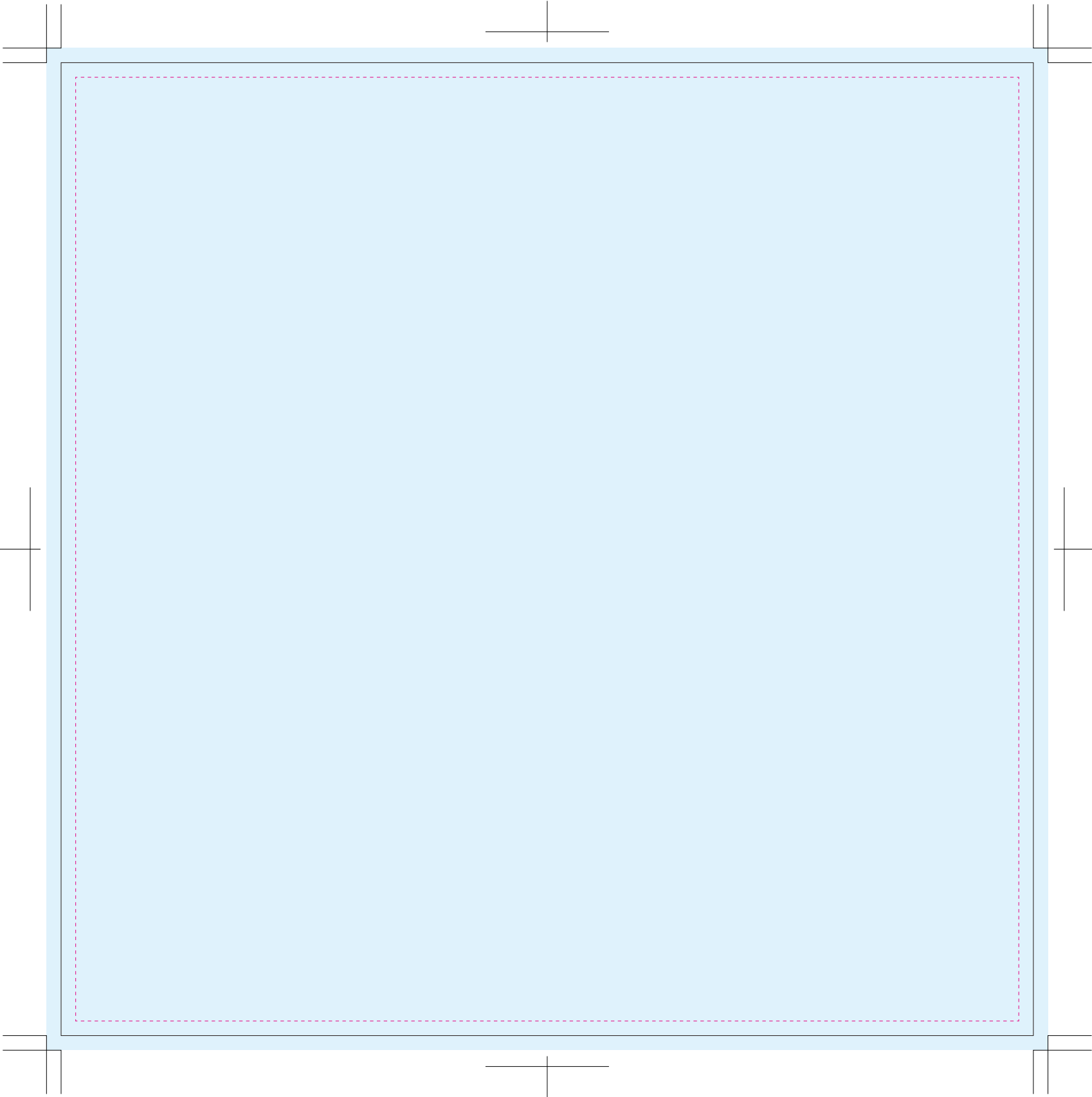
マゼンダのライン

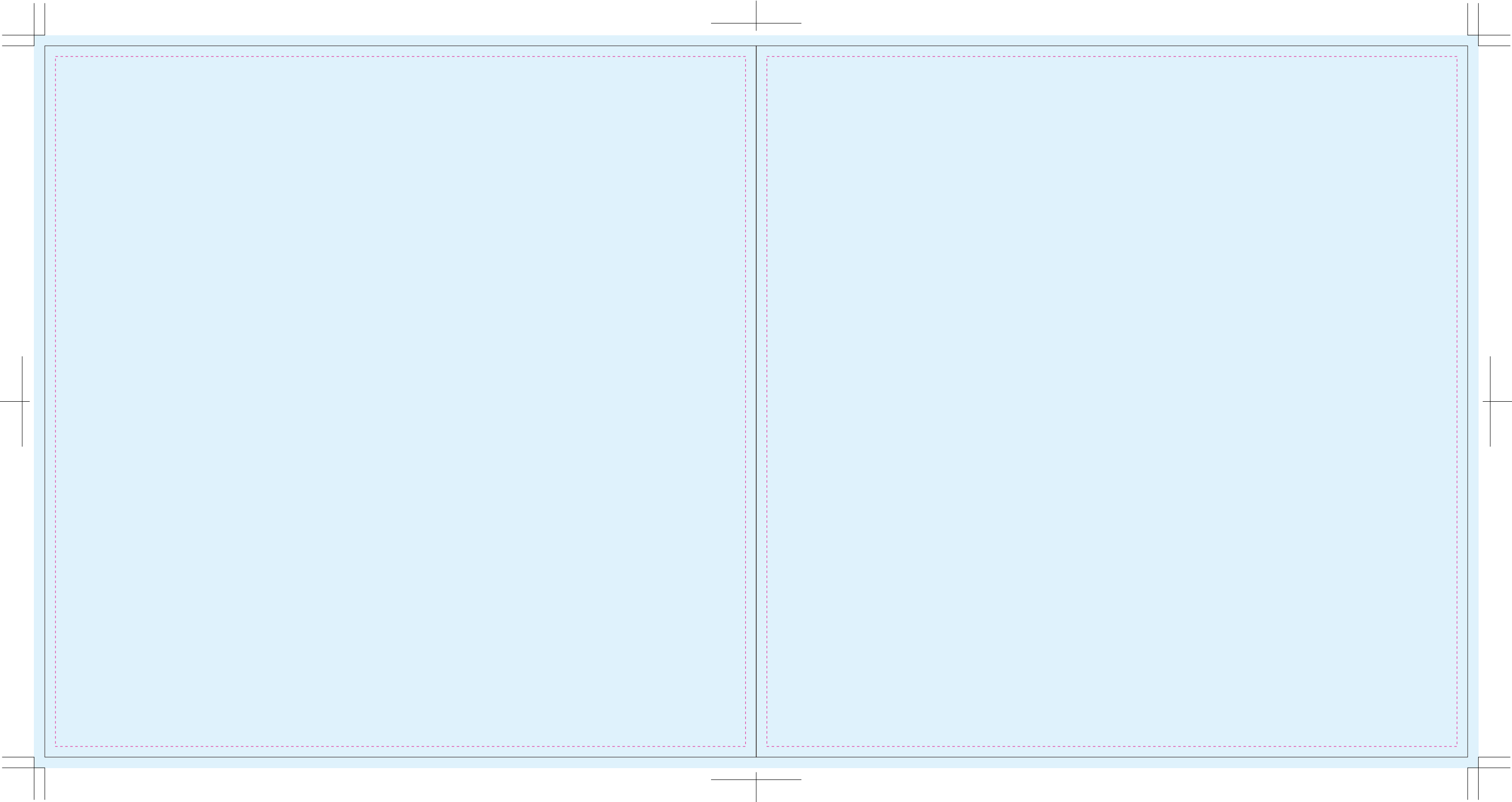
切れては困る重要な文字や絵柄はこの内側に収めてください。
こちらは、**内側にズレが生じた場合に切れてしまうリスクを低減**できます。
（切れてもいいものは、線に重なっていても問題ありません。）

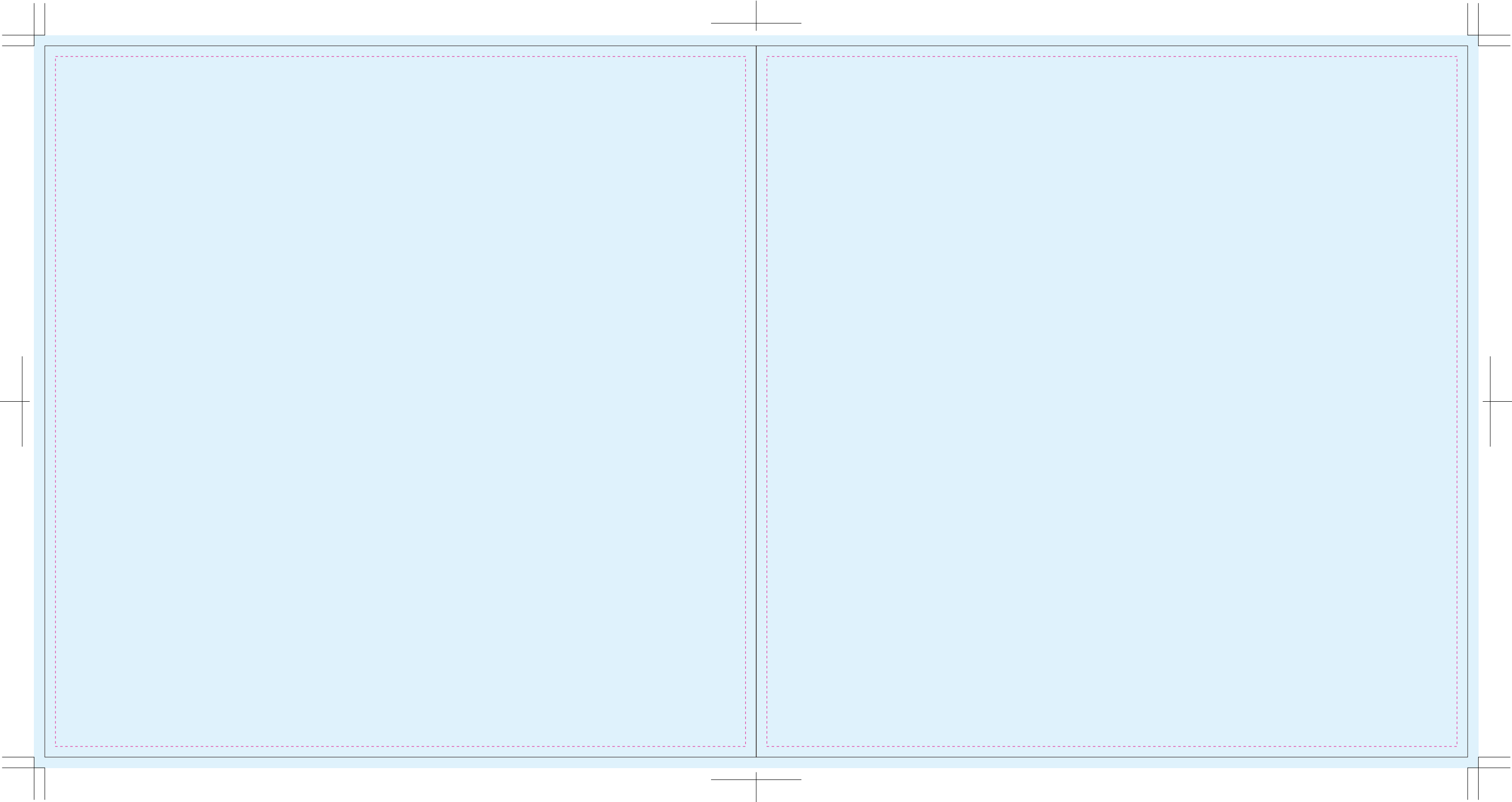
- 本文1ページ目(扉)と最終ページは**単ページ**で、それ以外のページは**見開き**で作成してください。
- 最終ページには奥付が入ります。奥付が入るスペース（ページに指示があります）には絵柄や文字は入れないでください。
- 入稿する際、文字がある場合は**文字のアウトライン化を確実に行ってください**。
行われていない場合は**エラーが出て進行不能**になります。

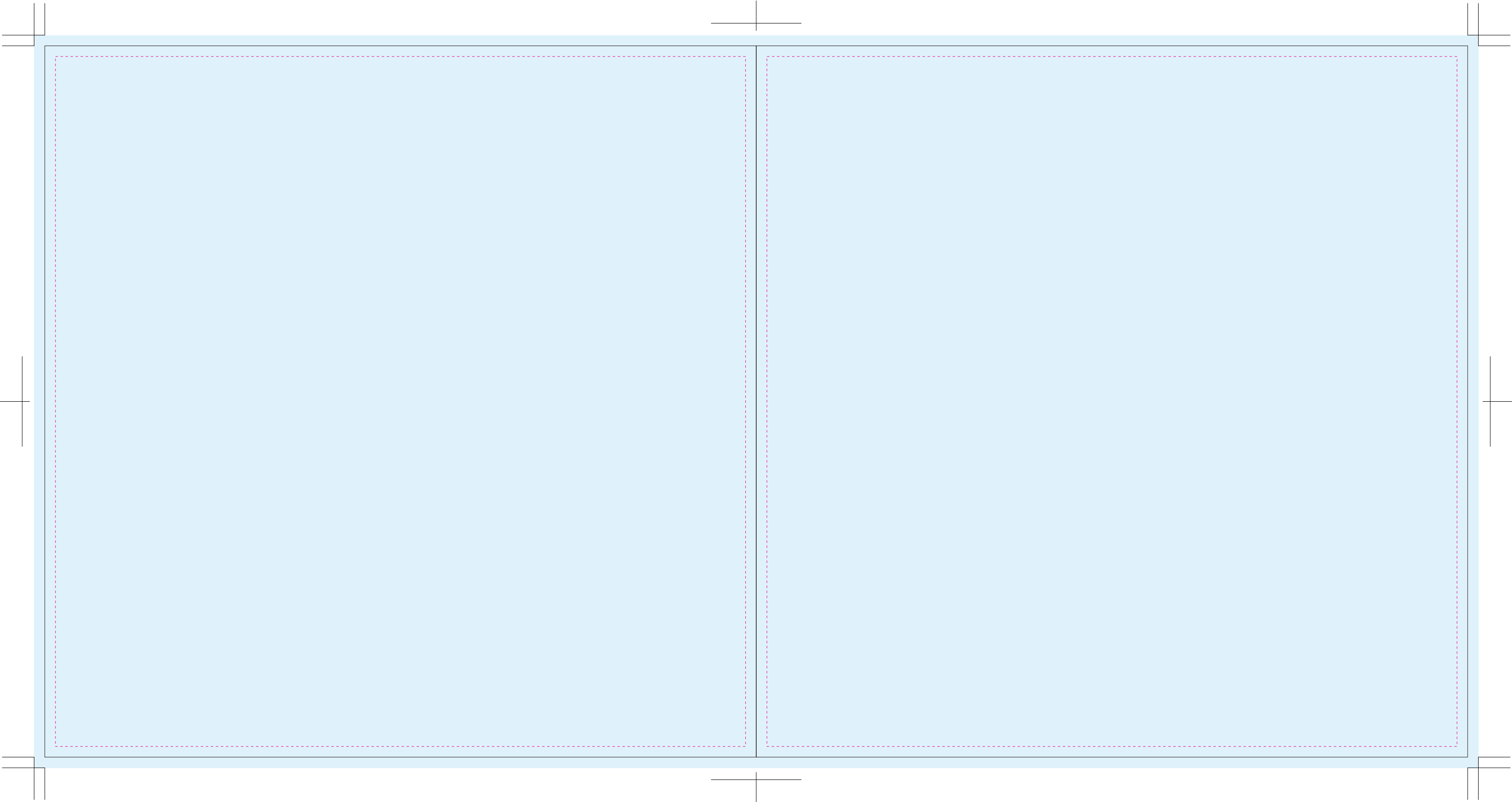
その他不明点のご遠慮なく 担当までご質問・ご相談ください。

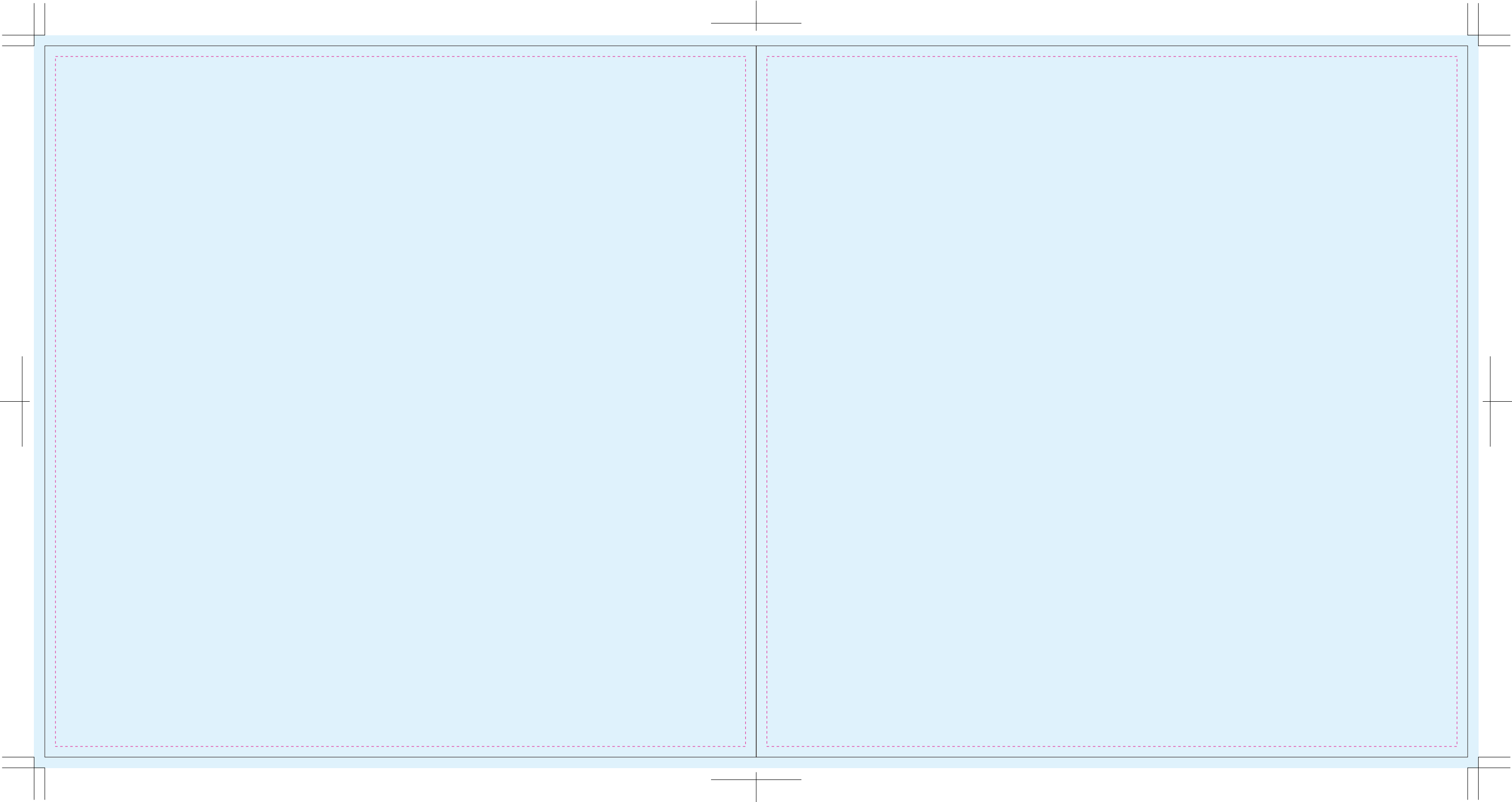
本文1ページ目(扉)

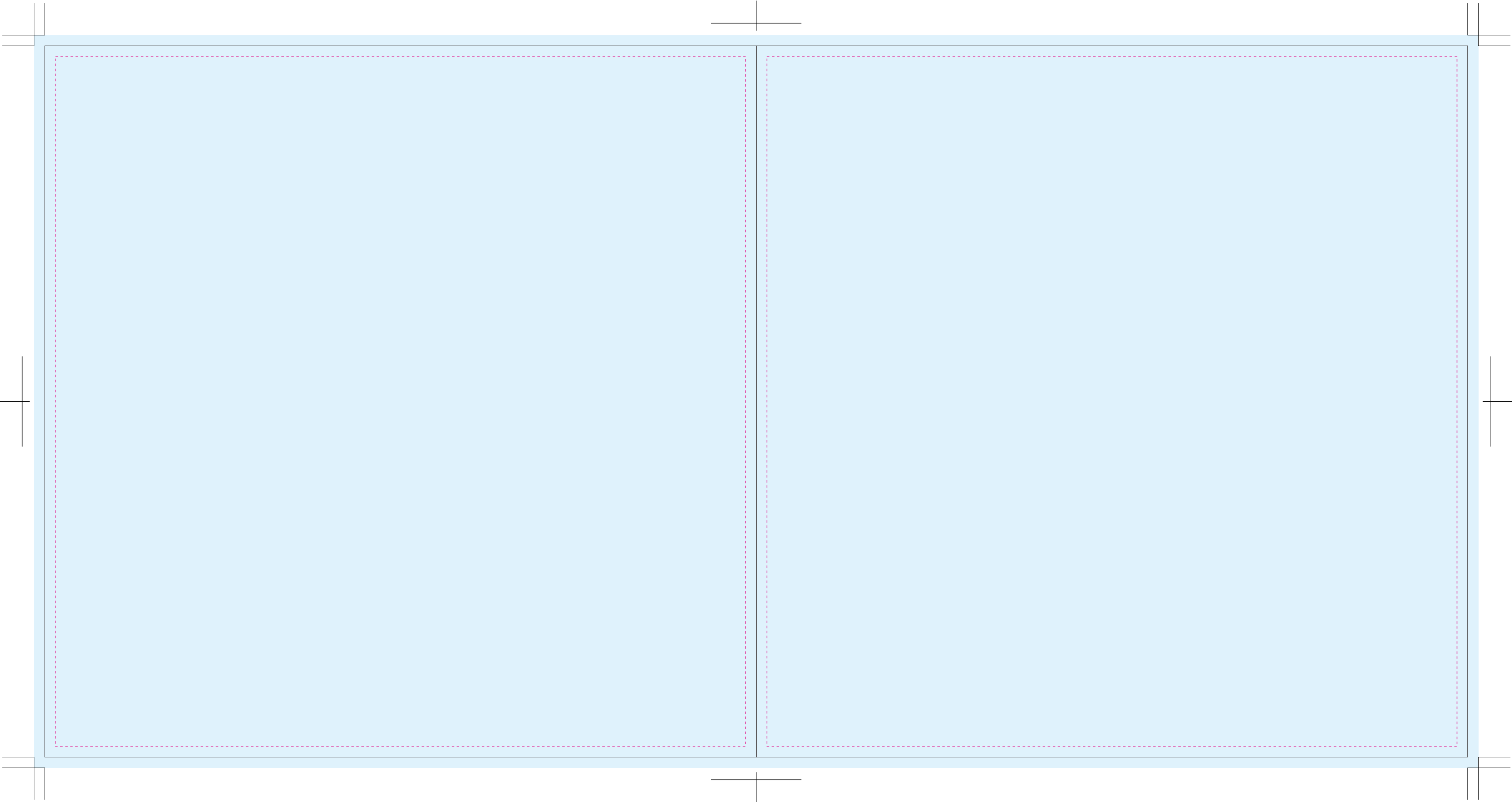


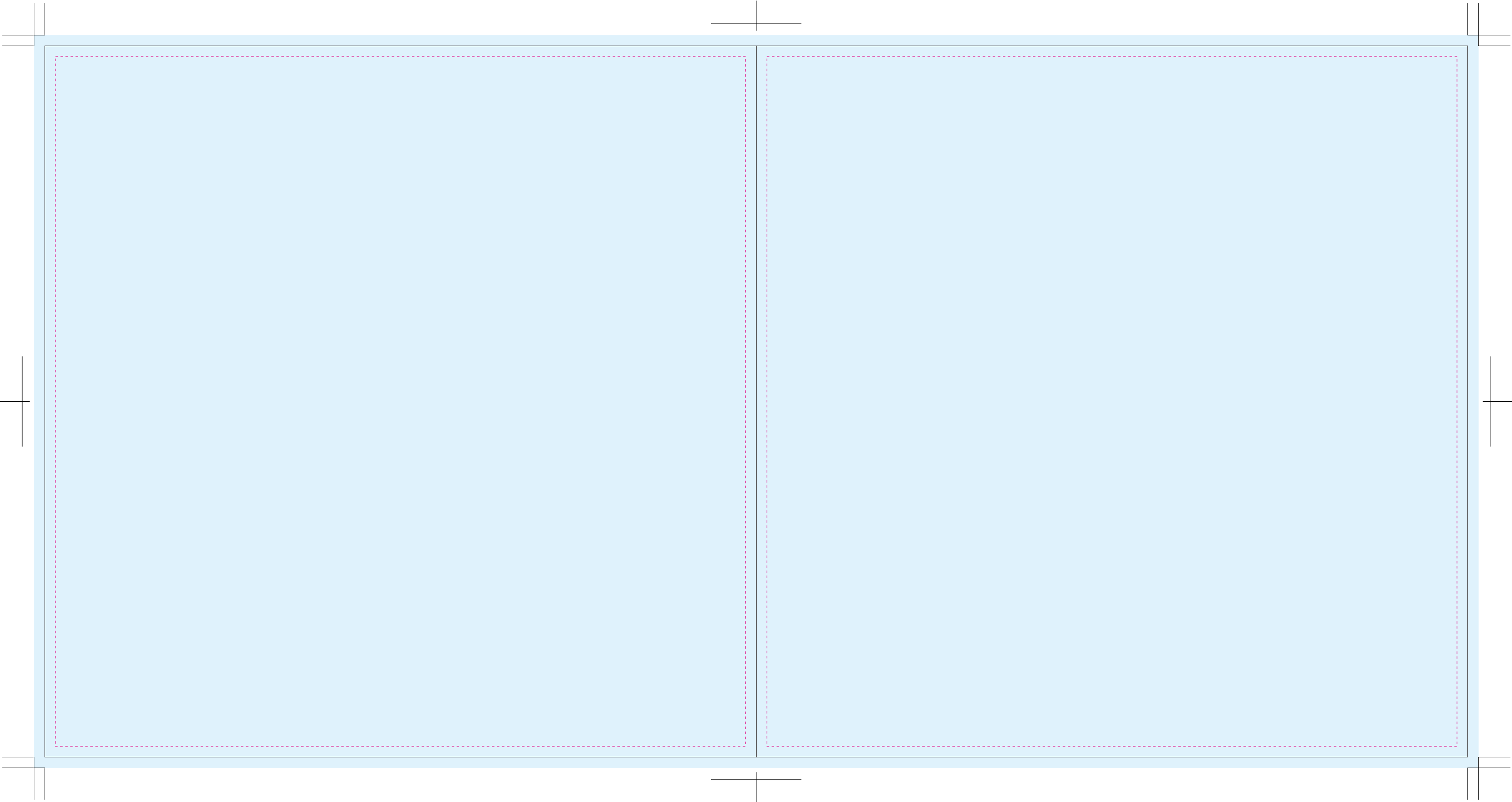


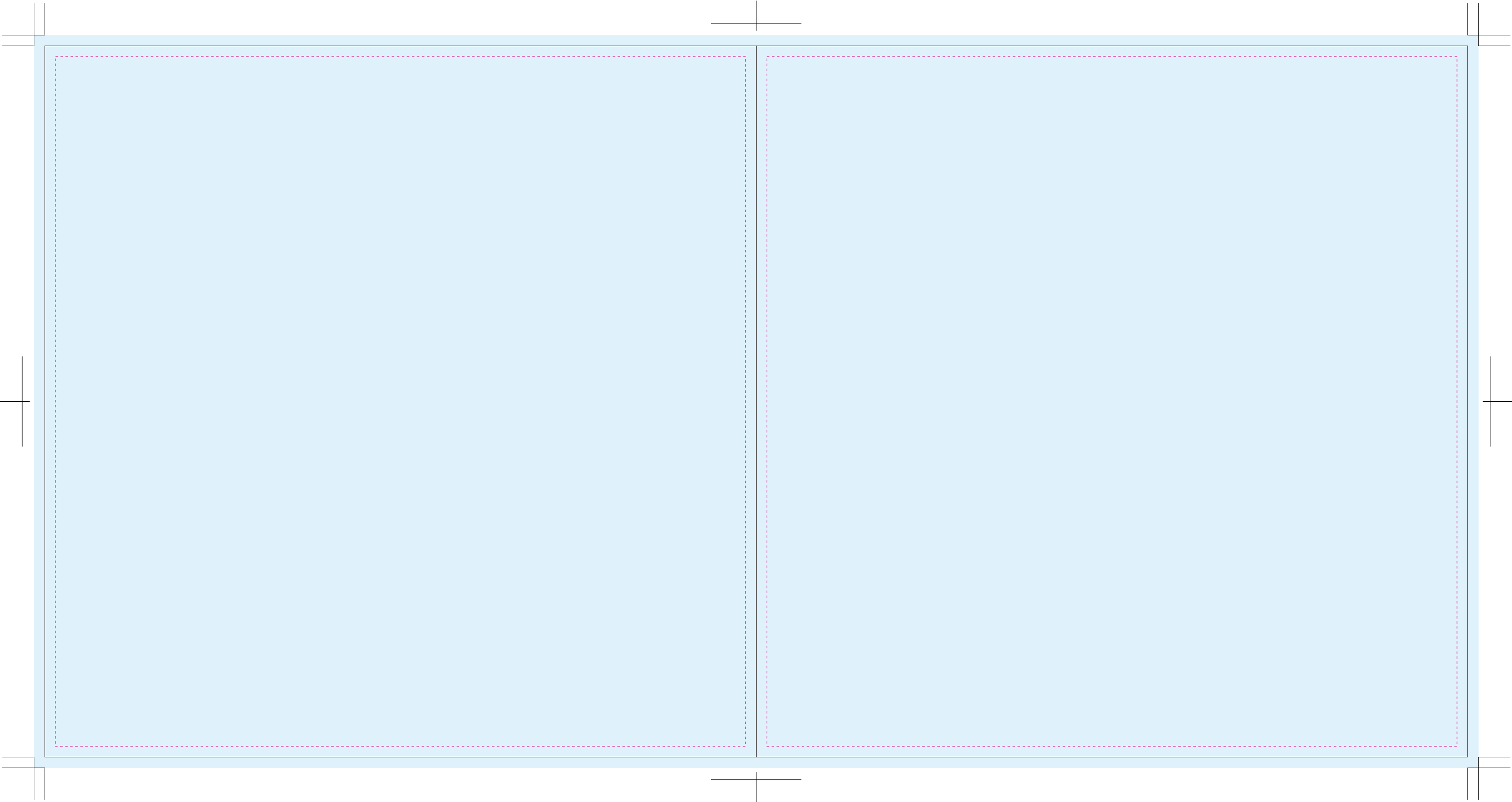


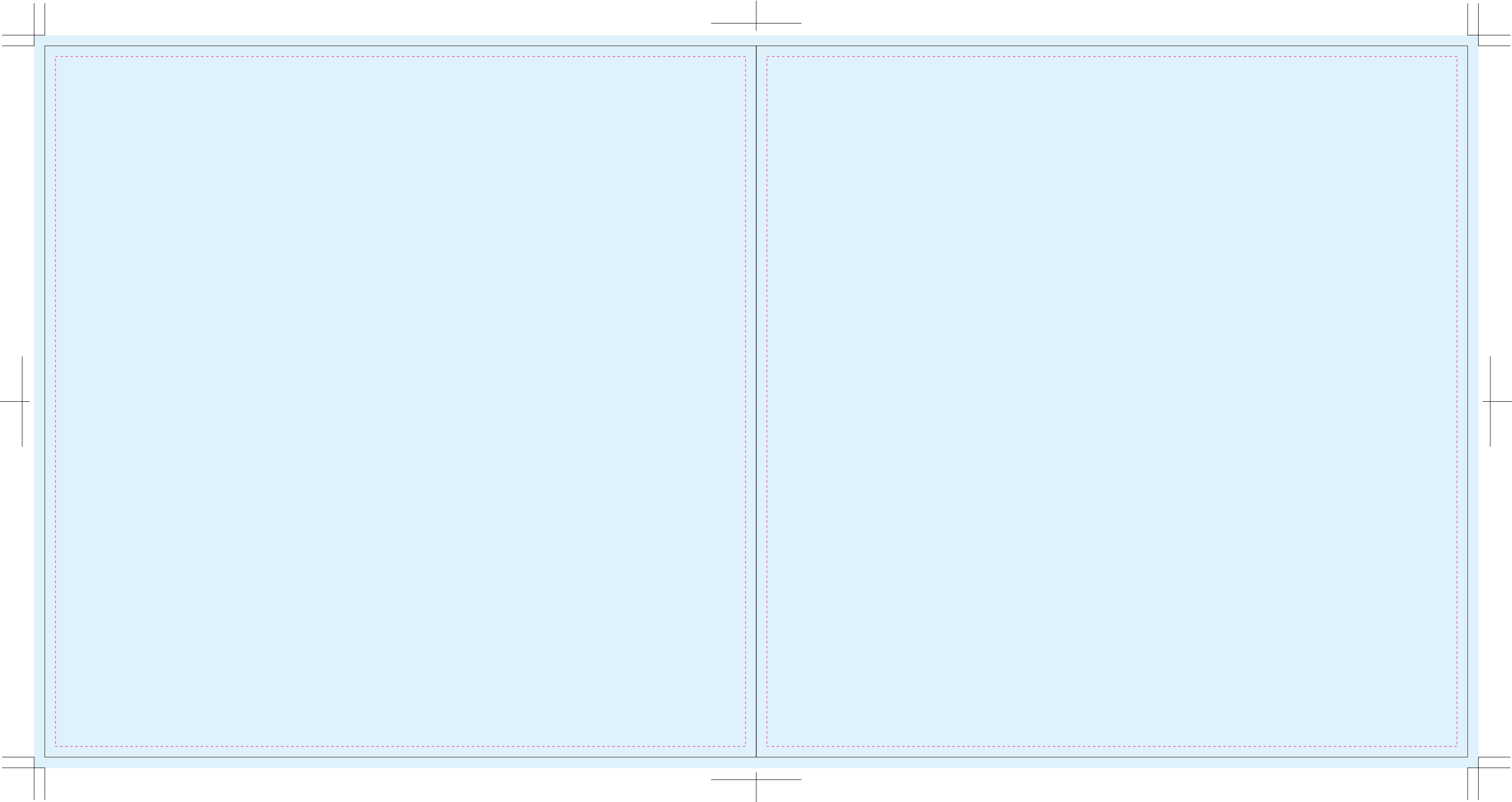


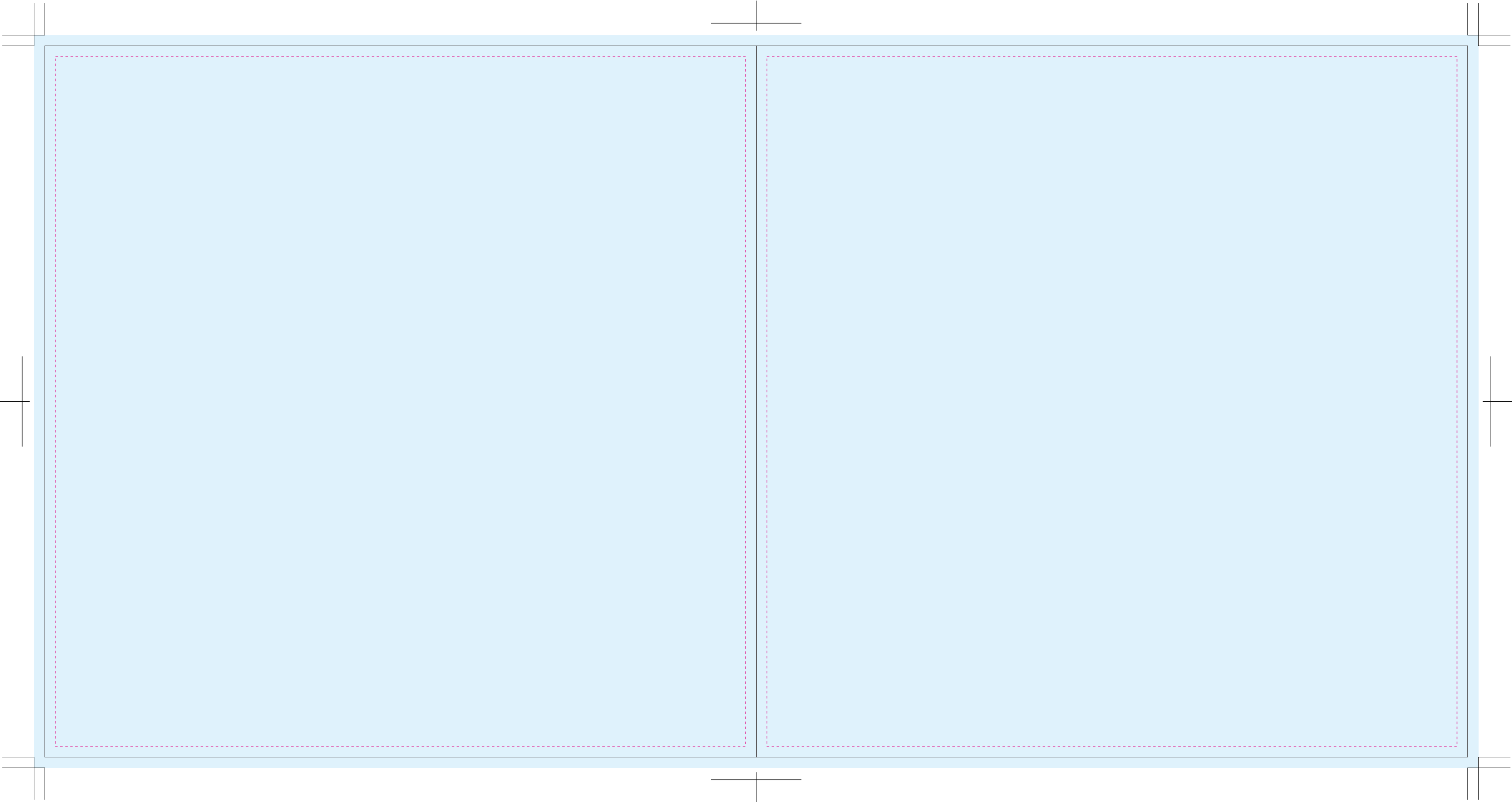


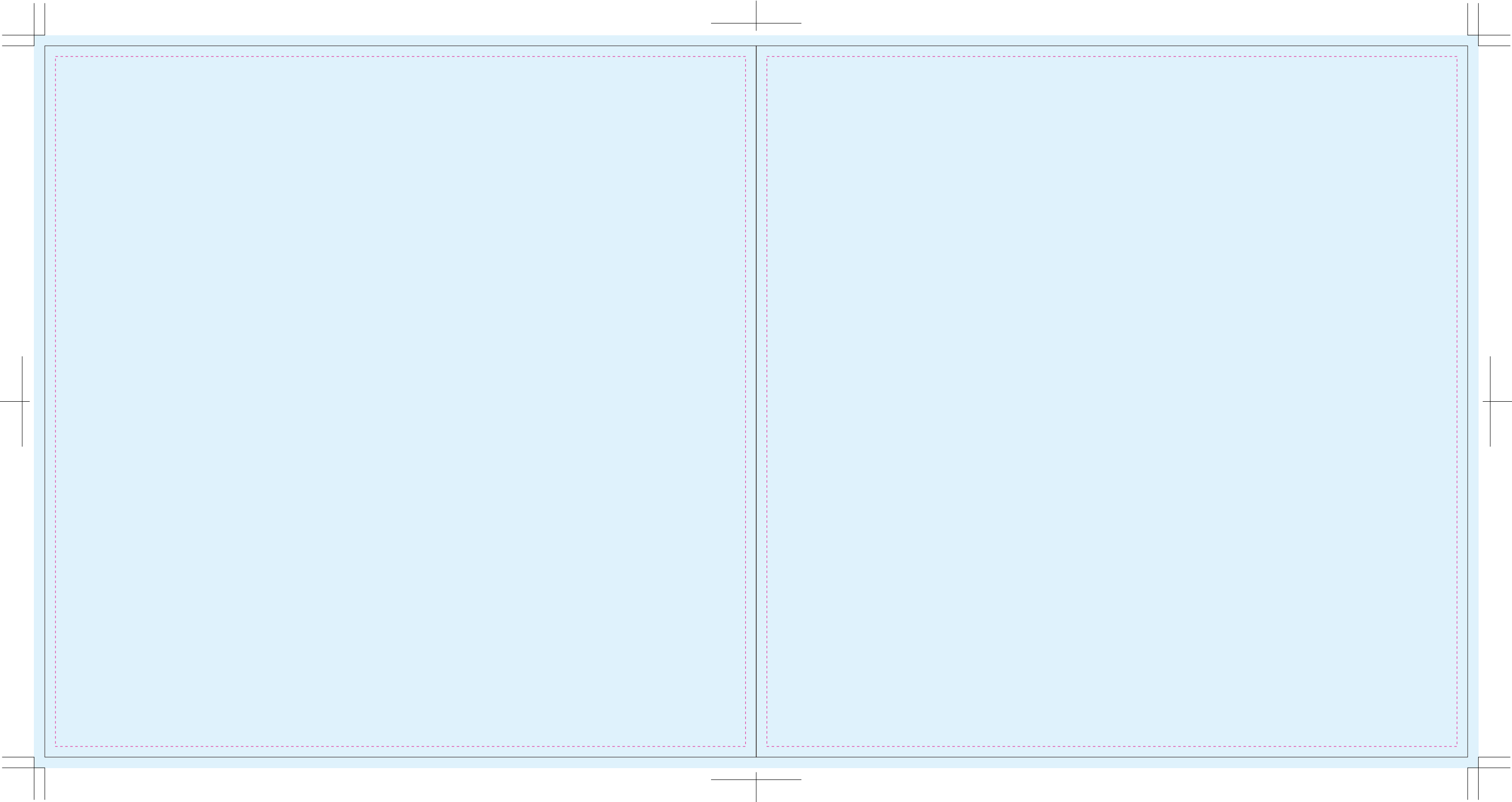


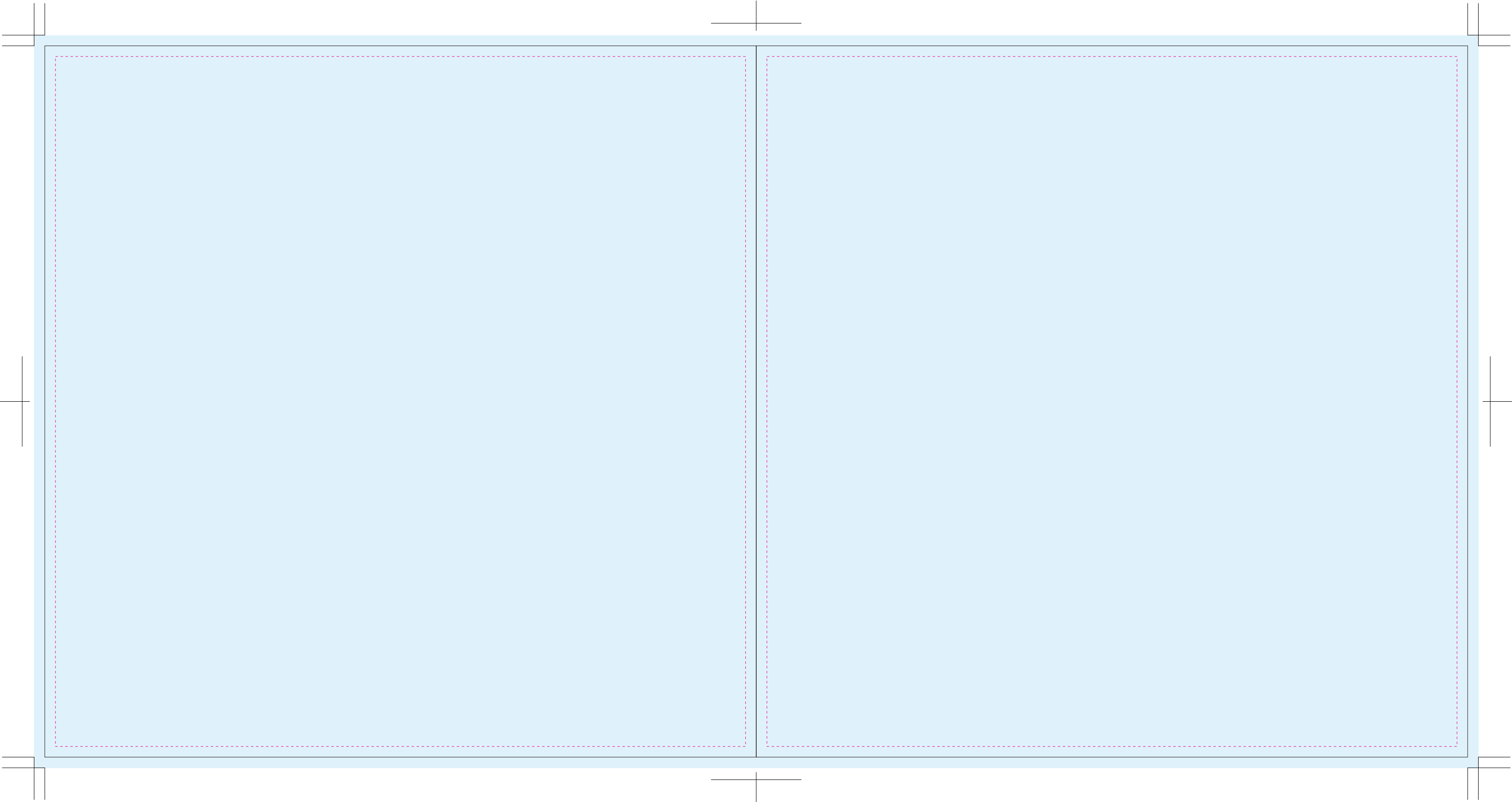


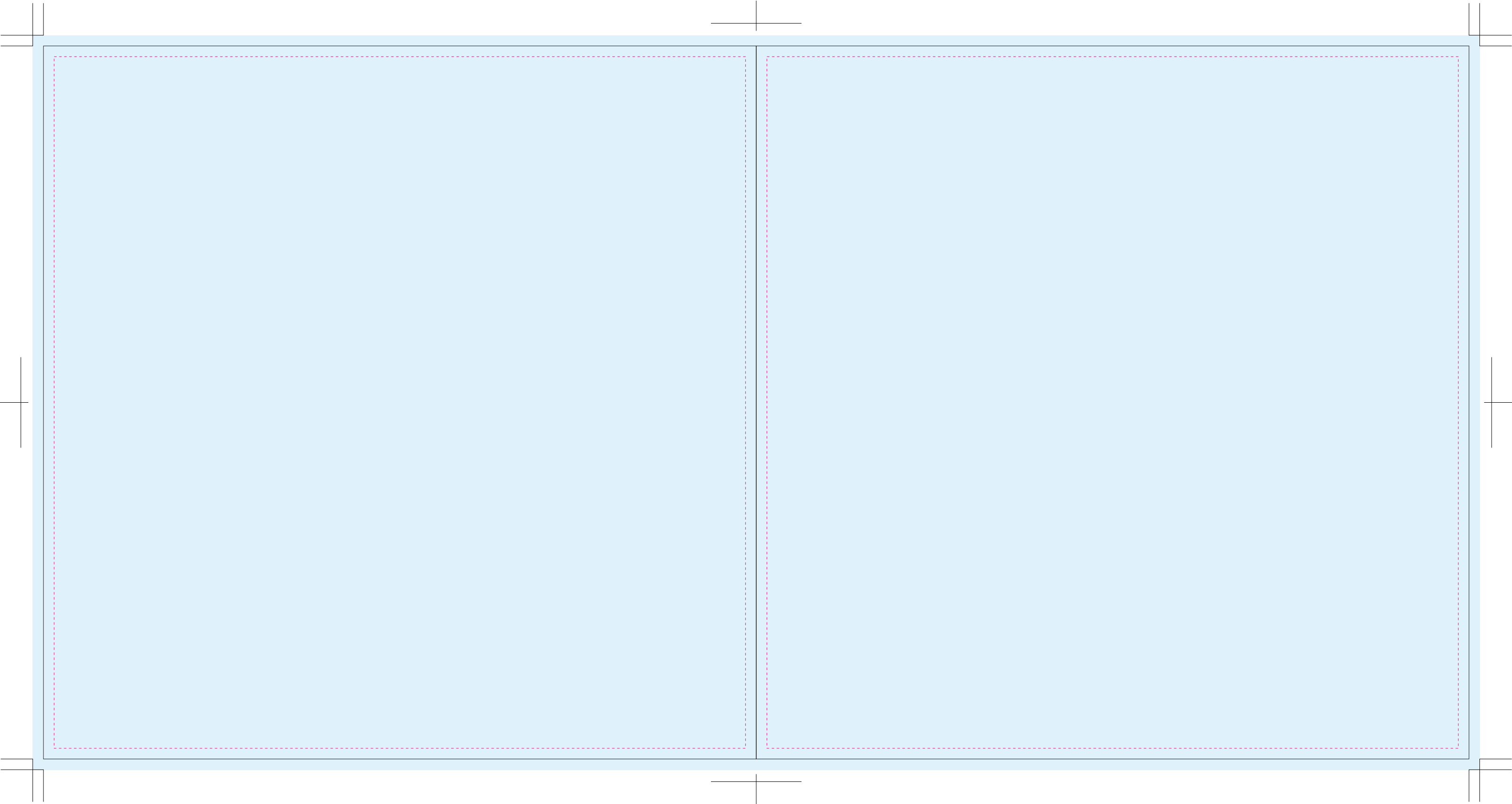


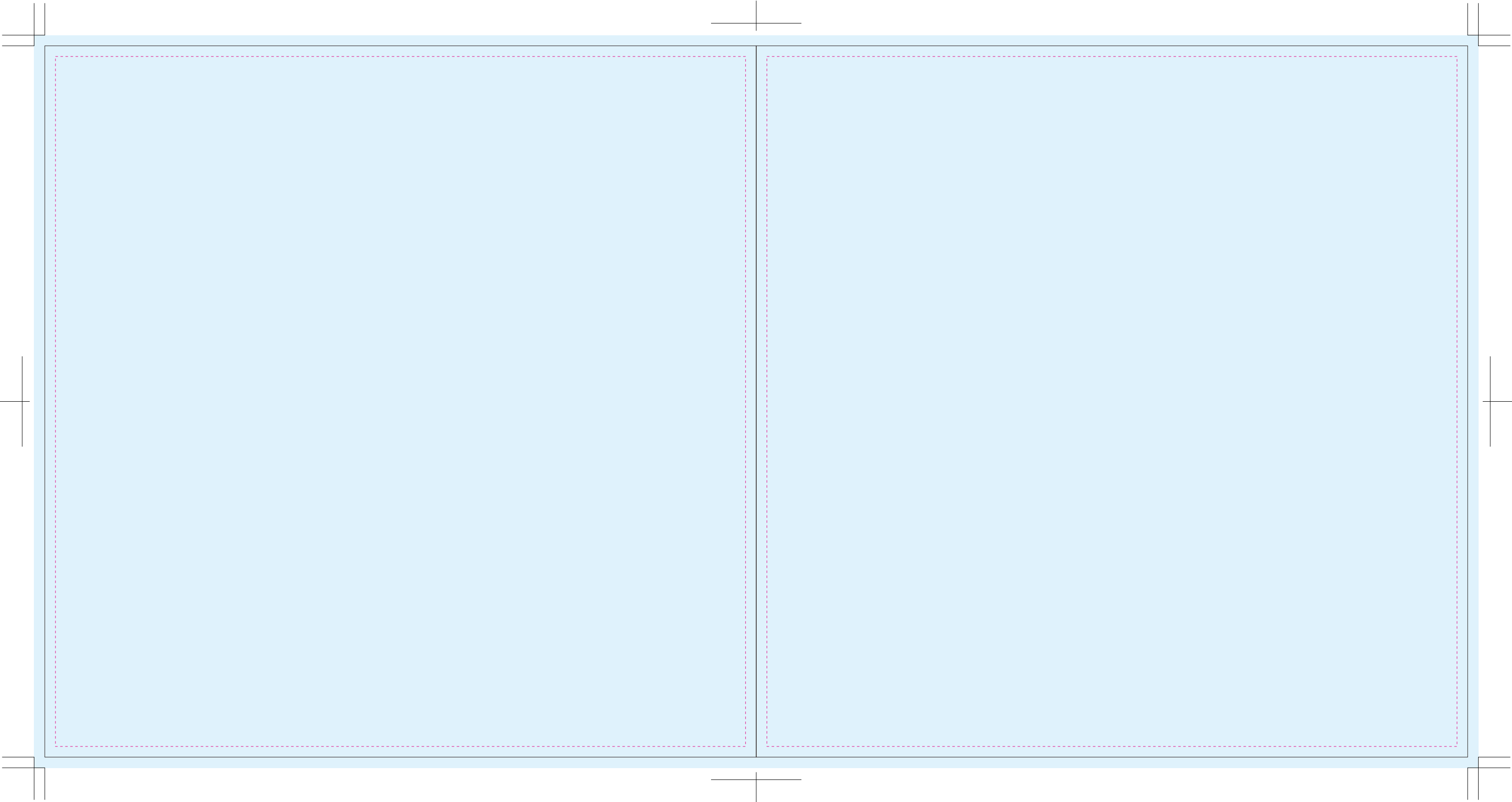


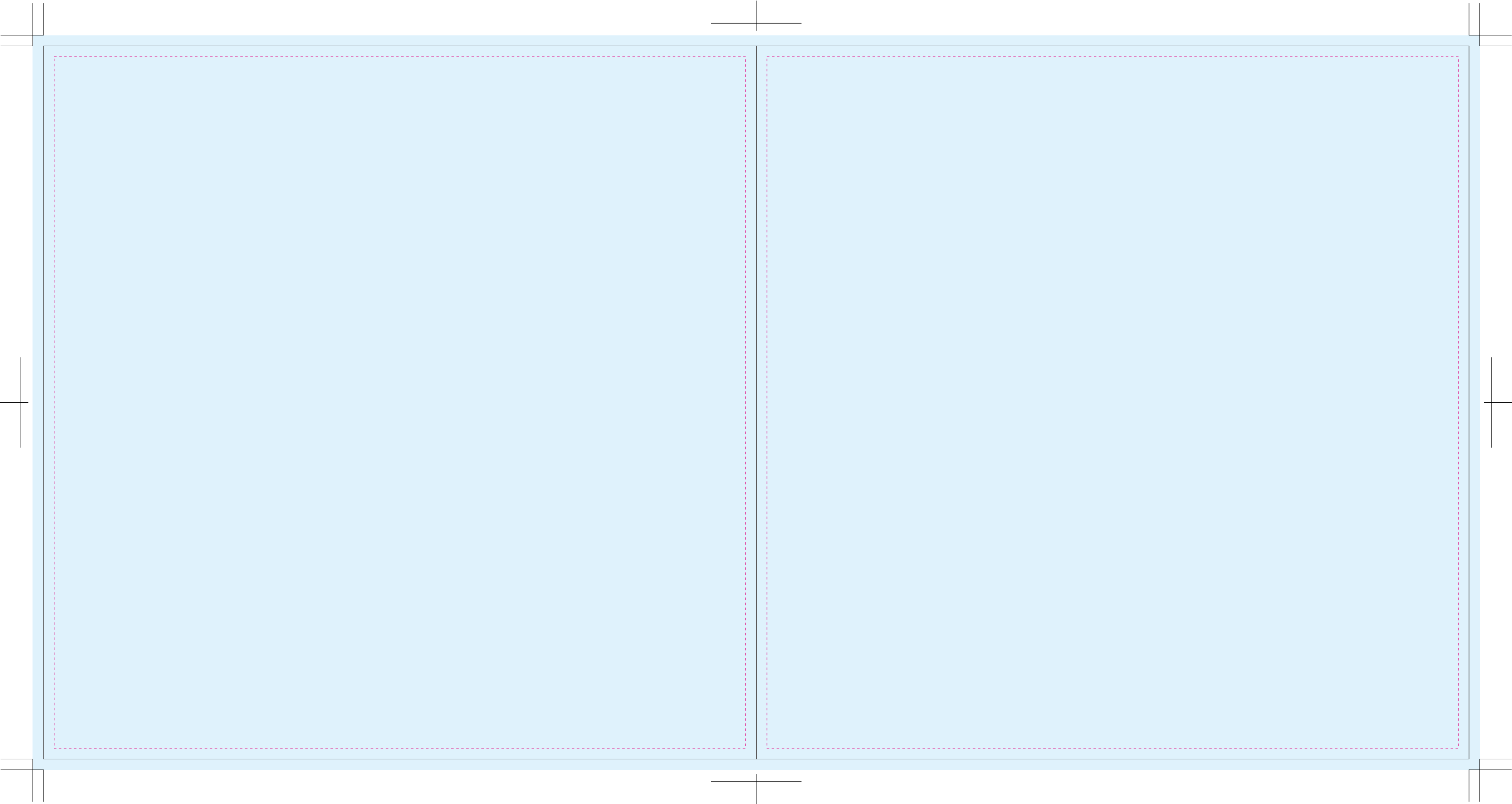


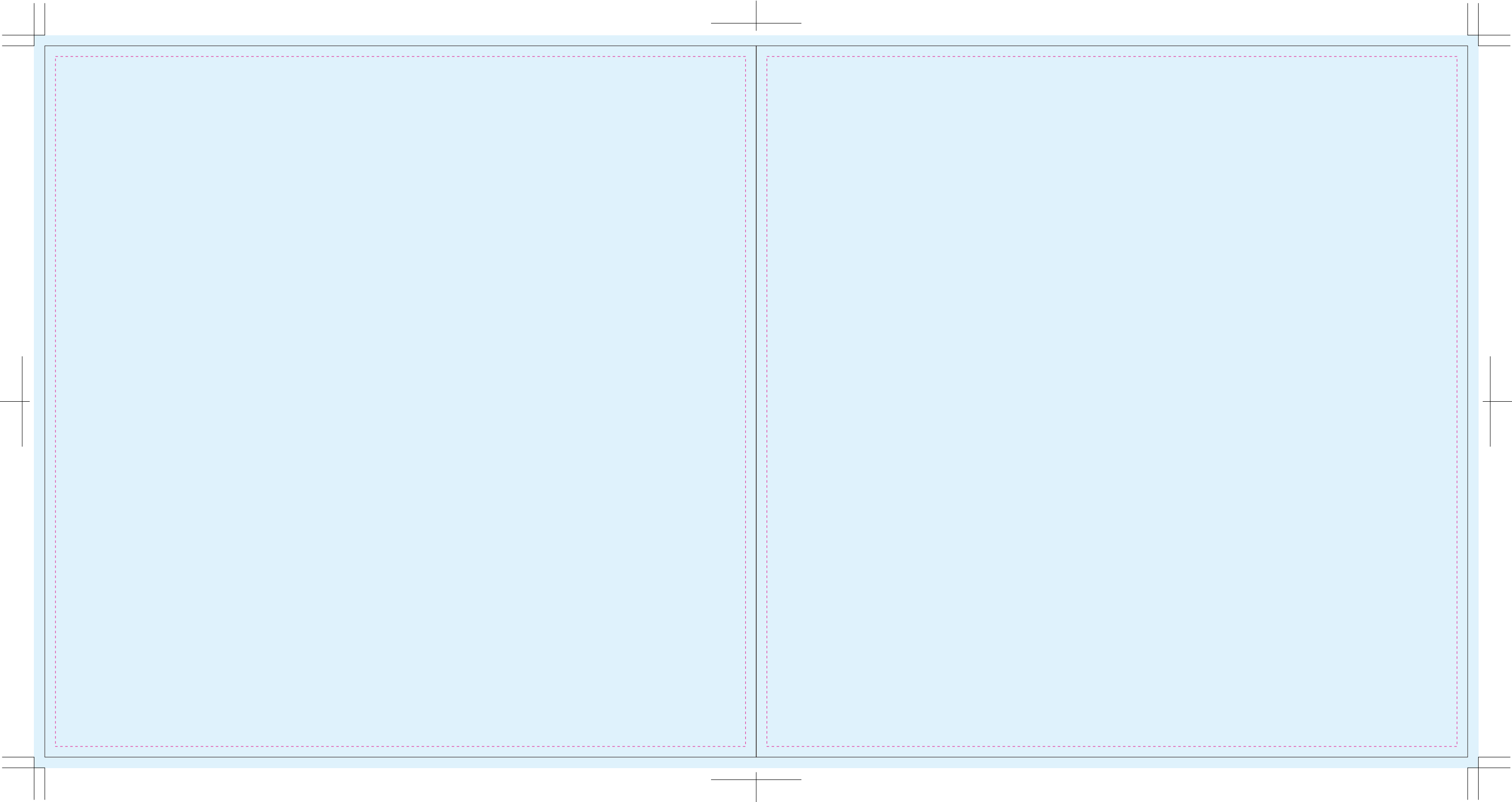












本文32ページ目(奥付)

